

グループ名	ユニット名等	科目名	担当教員名	対象学年次	学期
必修	2単位	情報処理	花田経子	1年次	春・秋

授業のキーワード	情報、情報学、情報処理、コンピュータ、IT、リテラシー、情報システム
授業の概要・目的	短期大学で学ばなければならない“情報学”について、体系的に学ぶ講義である。情報という言葉の本質的な理解、情報技術の仕組み、問題を解決するためのさまざまな手法を学び、その上で情報技術によって作られた情報システムを社会でどのように活用するかについて理解することが目的である。
履修のアドバイス・前提科目等	【履修上の注意】 講義形式ですが、レポートや課題においてPCの操作を義務付けます。 【履修における条件】 本講義では、『PCパス①』と『PCパス②』の取得を義務付けます。単位認定時に、パスがない学生は単位を認められませんので注意してください。

授業展開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第1講	オリエンテーション、PC操作基礎実習1	講義概要、運営方法、PCパスについて、新短ネットの利用	第9講	コンピュータの仕組み(1)～ハードウェア	コンピュータの基本的構造、5大機能と5大装置、入出力装置、記憶装置、CPU
第2講	パソコン操作基礎実習2	電子メールとはなにか、メールアドレスの取得、メールの利用	第10講	コンピュータの仕組み(2)～ソフトウェア	コンピュータの仕組み(2)～ソフトウェア
第3講	パソコン操作基礎実習3	様々なWebサービスの利用、新短ネットによる情報共有	第11講	現代社会とIT(1)～企業活動とIT	現代社会におけるITの位置づけ、情報システムの分類、情報システムの構成要素
第4講	情報とは何か	情報とは何か、情報の5分類、情報の活用、情報処理の手順、情報処理とIT	第12講	現代社会とIT(2)～最新技術の動向	ユビキタスコンピューティング、生活に密着するIT
第5講	情報理論(1)	符号化とデジタル、ビットによるデータ表現、N進数(2進数、16進数)	第13講	現代社会とIT(3)～サイバー犯罪と情報セキュリティ	サイバー犯罪とは何か、情報セキュリティとは、個人情報と著作権問題
第6講	情報理論(2)	基数変換、情報の単位、文字の符号化、音声・画像の符号化	第14講	現代社会とIT(4)～ITと私達の“良い関係”とは	安全・安心な社会とIT、ITと私達のこれからの関係に必要なもの
第7講	コミュニケーションとマルチメディア	情報の伝達、コミュニケーションの構成要素、マルチメディア、コミュニケーションモデル	第15講	試験+レポート	第13講で課題を呈示し、レポートを定期試験時に提出。定期試験も実施する。
第8講	通信ネットワーク	通信ネットワーク、インターネット、パケット通信とルーティング	評価方法		(1)平常点(出席点+ミニ課題)：50% (2)定期試験+最終レポート：50%
	備考 (関連する資格・試験等)	<p>☆PC実習(第1講～第3講)の際の持ち物：(1)『新短PC活用テキスト』、(2)『新短ネット初期パスワード表』、(3)USBメモリなど</p> <p>☆担当者メッセージ：Webページを閲覧しているだけでパソコンを使いこなしている“気”になっていませんか？本当の意味でのITを学ぶ良い機会です。新短のIT系講義のすべての基礎科目としてしっかり学んでください。</p>			
	使用する教科書(必ず購入してください)			参考文献	

『コンピュータ概論——情報システム入門(第4版)』, 石原秀男・魚田勝臣他共著, 共立出版
『新短 PC 活用テキスト 2008 年度版』(履修ガイダンスで配布)

『情報はなぜビットなのか』, 矢沢久雄著, 日経 BP 社
『コンピュータはなぜ動くのか』, 矢沢久雄著/日経ソフトウェア監修, 日経 BP 社